

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1年次用）			教科	美術	科目	映像表現
教 科：	美術	科 目：	映像表現	単位数：	3	単位
対象年次組：第 1 年次 1 組～ 2 組						
教科担当者：（1 組： ）（2 組： ）						
使用教科書：（ 高校生の美術 1 日本文教出版 ）						
教科 美術 の目標：						
【知 識 及 び 技 能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。						
【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。						
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。						

科目 映像表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：写真や映像表現の特徴や機材の使用方を習得する。技能：材料や機材の使用方を工夫し表現の意図を効果的にあらわすことができるようにする。	写真や映像メディアの特性をいかして表現の主題を生成し、表現の構想を練ることができる。作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考えることができる。	写真や映像作品の制作及び作品鑑賞に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	単元 写真「フィルム写真」 【知識・技能】 形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。基礎的な技術を身に付け意図に応じてカメラの特性をいかすことができる。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや写真ならではの時間の扱いなど、フィルム写真の特性をいかして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きや構図などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。鑑：写真の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる。提出日時等をしっかりと守ることができる。	・指導項目 35mmフィルムカメラ、フィルムの使用方法。暗室を使った印画紙へのプリント。 ・教材 35mm 1 眼レフフィルムカメラ、フィルム、印画紙。カメラの使用方法に関する資料。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 知：形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 技：基礎的な技術を身に付け、意図に応じて写真表現の特性を生かすことができるか。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや写真ならではの時間の扱いなど、映像表現の特性の特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きや構図などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか。鑑：写真の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができるか。 提出日時等をしっかりと守っているか。	○	○	○	26
	単元 ビデオ表現「ロトスコープ」 【知識・技能】 材料、形や色、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、動画を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。用具の使用方、特性を理解し、撮影の方法や用いる材料などを工夫し、意図的に表現することができる。 【思考・判断・表現】 動画ならではの動きなどをもとに、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。動画の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる。提出日時等をしっかりと守ることができる。	・指導項目 ビデオカメラによる映像撮影に伴う基礎的な企画、準備、演出、撮影技術。PCを使用した動画の制作、及び編集方法。動画の鑑賞及び分析。 ・教材 ビデオカメラ等撮影機材。PC及びグラフィック、動画制作用アプリケーション。タブレット及び専用ペン。ワークシート等の資料。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 知：形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、動画を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 技：カメラやコンピュータ等の用具の特性を理解し、撮影の方法や用いる材料などを工夫し、意図的に表現しようとしているか。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや動画ならではの動きなどをもとに、映像表現の特性の特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。鑑：アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができるか。 提出日時等をしっかりと守っているか。	○	○	○	26
後期	単元 写真「デジタル写真」 【知識・技能】 形や色、質感、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。基礎的な技術を身に付け意図に応じてカメラの特性をいかすことができる。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや写真ならではの時間の扱いなど、デジタル写真の特性をいかして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きや構図などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。鑑：写真の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる。提出日時等をしっかりと守ることができる。	・指導項目 デジタル1 眼レフカメラの使用方。PCとプリンターを使用した画像プリント。 ・教材 デジタル1 眼レフカメラ、SDカード、プリント用紙。カメラの使用方法に関する資料等。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 知：形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 技：基礎的な技術を身に付け、意図に応じて写真表現の特性を生かすことができるか。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや写真ならではの時間の扱いなど、映像表現の特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きや構図などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか。鑑：写真の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができるか。 提出日時等をしっかりと守っているか。	○	○	○	26
	単元 ビデオ表現「コマ撮りアニメーション」 【知識・技能】 材料、形や色、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、動画を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。用具の使用方、特性を理解し、撮影の方法や用いる材料などを工夫し、意図的に表現することができる。 【思考・判断・表現】 動画ならではの動きなどをもとに、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。動画の特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができる。提出日時等をしっかりと守ることができる。	・指導項目 デジタル1 眼レフカメラの基本的使用方法。企画、準備、演出技術。PCを使用した動画の制作、及び編集方法。動画の鑑賞及び分析。 ・教材 デジタル1 眼レフカメラ等撮影機材。PC及びグラフィック、動画制作用アプリケーション。ワークシート等の資料。 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りにいかす。	【知識・技能】 知：形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、動画を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。 技：カメラやコンピュータ等の用具の特性を理解し、撮影の方法や用いる材料などを工夫し、意図的に表現しようとしているか。 【思考・判断・表現】 発：撮影方法による印象の違いや動画ならではの動きなどをもとに、映像表現の特性の特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。鑑：アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりにとりくむことができるか。 提出日時等をしっかりと守っているか。	○	○	○	27
							合計
							105